

令和8年度

一般会計・特別会計予算概要

令和8年2月

函南町長 仁科 喜世志

I 一般会計予算

令和8年度函南町の一般会計予算は、歳入歳出総額 14,160,000 千円で、前年度比 381,000 千円、2.6%の減額となりました。

令和8年度は、第六次函南町総合計画後期基本計画の最終年度となります。町の将来都市像である「環境・健康・交流都市函南」の実現に向け、基本理念に定める6つの柱「環境・防災」、「社会基盤」、「健康・福祉」、「教育」、「産業」、「交流・にぎわい」の各分野において行政効果が最大限に発揮できるような予算を編成し、未来につながる実効性の高い施策の展開を図り、「住んでよし」、「訪れてよし」と思えるまちづくりの総仕上げを行ってまいります。

施策の柱ごとの主な事業としましては、次のとおりです。

施策の柱：環境【環境・防災】

基本目標 ◎ 快適に安心して暮らせる環境づくり 予算総額 1,744,423 千円

深刻化する地球環境問題を踏まえ、地球温暖化防止対策、省エネルギー化の推進、再生可能エネルギーの活用など、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めます。

また、雨水対策の推進、治水機能の整備を図るとともに、防災体制の強化により災害に強いまちづくりに努めます。

さらに、交通安全対策や、消防・救急体制の充実を図り、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

役場庁舎等の照明LED化（予算額 54,828 千円）

公共施設の省エネルギー化を推進し、環境保全や経常経費の削減に繋げるため、役場庁舎、消防団本部室、消防団第3分団詰所、第6分団詰所、西部コミュニティセンター、仏の里美術館、最終処分場の照明LED化を実施します。

可燃ごみバックアップ処理業務（予算額 30,250 千円）

施設稼働から26年が経過し、経年劣化により老朽化が進んでいるごみ焼却場について、災害協定に基づき、平時から可燃ごみの処理の一部を外部委託することにより、有事の際の処理不能事態や災害等の発生に備え、実施体制を整え、災害廃棄物や処理不能廃棄物の処分において迅速かつ的確な対応を図ります。

ごみ焼却場の延命化（予算額 221,940 千円）

経年劣化等により老朽化が進んでいるごみ焼却場について、長寿命化計画に基づき計画的に改修工事等を実施することで、ごみ焼却場施設の延命化を図ります。

蛇ヶ橋ポンプ場の耐震化（予算額 30,000 千円）

供用開始後36年が経過した蛇ヶ橋ポンプ場の耐震改修工事を実施し、災害時における浸水対策機能の維持を図ります。

感震ブレーカー設置への補助（予算額 1,500 千円）

地震発生後の二次災害として通電による火災の発生が想定される中、感震ブレーカーの設置に対する補助金を交付することで、地震による二次災害リスクの軽減に繋がる備えを推進します。

指定避難所スポットクーラー等配備（予算額 4,616 千円）

指定避難所の暑さ対策のため、スポットクーラー及び発電機を函南中学校の体育館に配備し、指定避難所内の環境改善を図ります。

消防救急体制の強化（予算額 596,404 千円）

火災、救急業務のほか多様化、複雑化する自然災害等に対応するため、駿東伊豆消防組合へ負担金を支出し、町民の安心・安全な生活を守ります。

施策の柱：環境【社会基盤】

基本目標 ◎ **コンパクトで効率的な都市づくり** 予算総額 1,066,734 千円

持続可能な地域公共交通網の形成のため、行政、地域住民、交通事業者が協力し、地域に最適な地域公共交通の実現を目指します。

また、幹線道路や身近な生活道路等の整備、維持補修を行い、町民の安全性と利便性の向上を図ります。

さらに、良好な住環境や都市機能等の実現に向けて、総合的かつ効率的な土地利用を推進します。

地域公共交通実証運行業務（予算額 36,877 千円）

公共交通空白地域の解消のため、町域南部における拠点循環コミュニティバスや、大場駅と函南駅の間でデマンドタクシーの実証運行を実施し、町の公共交通ネットワークの構築を図ります。また、利用実態を調査し、今後の運行に向けた検討を行います。

国庫補助事業による町道の整備（予算額 189,092 千円）

狭あい道路における拡幅整備や地域の拠点間を結ぶ道路ネットワークの構築及び児童生徒等の安全を確保するための道路整備を実施します。また、橋梁等の道路施設の長寿命化により、安心・安全な道路利用環境を整備します。

町単独事業による町道の整備（予算額 150,214 千円）

町の主要幹線道路となる1、2級町道やその他町道の改良工事、舗装工事を実施することにより、快適な環境で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

公共下水道事業の推進（予算額 392,874 千円）

公共水域の水質保全を推進するため、一般会計から下水道事業特別会計への負担金を支出します。

町営上沢住宅浴室等の改修（予算額 23,430 千円）

函南町営住宅長寿命化計画に基づき、上沢住宅の浴室等を改修することで、施設の長寿命化を図るとともに、住環境の向上に努めます。

地震対策（TOUKAI-0+）事業（予算額 18,118 千円）

発生が危惧されている南海トラフ地震等の大規模地震に対する自助の備えの充実が求められている中、住宅等の耐震化やがけ地に近接しており危険性がある住宅の除却に対し補助金を交付することで、地震による被害の軽減に繋がる備えを推進します。

施策の柱：健康【健康・福祉】

基本目標 ◎ 誰もが生き生きと暮らせる健康づくり 予算総額 3,400,432 千円

健診・保健指導や健康講座等により、町民のこころとからだの健康の維持・増進に取り組むとともに、安心して子どもを産み育てられるよう、切れ目ない支援を充実します。

また、誰ひとり孤立することがないように、地域住民や多機関と協働し、誰もが安心して暮らすことができる地域共生社会の実現に努めます。

さらに、夜間も含めた救急医療体制の充実を図り、保健・福祉・介護が連携した医療体制の充実に取り組みます。

出産・子育て応援金（予算額 17,500 千円）

子育て世帯が安心して出産・子育て期を送ることができるよう、妊娠期から出産期・子育てまで一貫した伴走型の相談支援を充実させるとともに、妊婦等に2回給付金を交付する経済的支援を一体的に実施します。

発達に特性のある子どもへのアセスメント等の強化（予算額 1,125 千円）

こどもの発達の特性に関して「気づき」の段階からアセスメントを行い、その特性を理解するための家族支援や発達段階に合わせた支援を行います。

重層的支援体制整備事業（予算総額 47,450 千円）

(1) 包括的相談支援事業（予算額 29,487 千円）

介護、障害、子ども・子育て、生活困窮等、対象者の属性を問わず、包括的に相談を受けとめ、関係機関へ繋ぎ連携して支援します。

(2) 地域づくり事業（予算額 10,373 千円）

地域住民が地域社会に参加する機会を創出し、地域生活課題の解決に係る体制整備、地域住民相互の交流の場づくりを支援します。

(3) 多機関協働事業（予算額 7,590 千円）

包括的相談支援で受け止めた相談のうち、複雑化・複合化したものを、多機関連携による課題の解きほぐしや地域の困りごとに対するアウトリーチによる支援を拡充し、課題解決に向けた取組を推進します。

温泉スタンド源泉揚湯ポンプの更新（予算額 19,998 千円）

経年劣化等により老朽化が進んでいる湯～トピアかなみ及び温泉スタンドの源泉揚湯ポンプを更新し、安定的な温泉供給体制の維持を図ります。

救急医療体制の整備促進（予算額 42,605 千円）

夜間・休日でも救急を要する患者の生命を守るため、沼津夜間救急医療協議会、沼津夜間救急医療対策協会、田方救急医療協議会へ負担金を支出し、救急医療体制の確保を図ります。

国民健康保険制度の円滑な運営（予算額 251,496 千円）

国民健康保険被保険者数が減少するなか、国民健康保険事業の医療費の適正化かつ安定的な運営のため、一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行います。

後期高齢者医療制度の円滑な運営（予算額 604,375 千円）

高齢者が安心して医療を受けられるようにするため、一般会計から静岡県後期高齢者医療広域連合へ共通経費の負担金を支出するとともに、後期高齢者医療特別会計へ繰出しを行います。

介護保険事業の円滑な運営（予算額 495,872 千円）

行政と医療機関、事業所が連携した在宅医療・介護連携が図られるよう、介護保険事業の健全な運営に努めるとともに、支援サービスの向上を図るため、一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行います。

施策の柱：健康【教育】

基本目標 ◎ 生涯にわたる学びを支える教育・文化づくり 予算総額 4,704,627 千円

少子化や夫婦共働きの傾向が強まるなか、子育て世代の保育ニーズを的確に把握し、安心して子育てができる環境整備に努めます。

また、幼児教育に関わる保育士・教諭の資質向上や施設等の環境整備を推進し、小学校への円滑な就学を支援します。

さらに、児童・生徒に安心・安全な教育環境を提供するため、学校施設の長寿命化及び多様化する学習に対応した取り組みを行い、義務教育の更なる充実を図ります。

函南さくら保育園新園舎建設に係る補助（予算額 114,421 千円）

民間が運営する函南さくら保育園について、老朽化した園舎の建て替え及び認定こども園への移行に対する支援を行い、町内における保育環境の充実を図ります。

教育支援センターの運営（予算額 28,245 千円）

複雑化、多様化した児童・生徒の諸問題に対して専門職員を配置し、教育相談の実施、適応指導（チャレンジ）教室の運営、学校支援等的確な対応を図ります。

幼児教育センターの運営（予算額 10,558 千円）

函南町教育大綱の基本構想に掲げる「乳幼児の保育・教育、子育て支援の充実」を推進するため、幼児教育センターを運営し、質の高い幼児教育の提供、保幼小中連携を図ります。

G I G Aスクール端末の更新（予算額 157,632 千円）

購入から5年が経過した町内小中学校のG I G Aスクール端末について更新を行い、学校活動におけるI C T教育の充実を図ります。

文化センター大ホールの天井耐震化（予算額 259,000 千円）

現在利用を停止している文化センター大ホールについて、天井耐震改修工事を実施し、安心・安全な生涯学習環境の整備に努めます。

図書館等複合施設の運営（予算額 95,269 千円）

図書館等複合施設「かなみ知恵の和館」を、情報、学習、文化、交流の拠点として有効活用できる場とするため、図書館機能等の充実を図ります。

かなみ仏の里美術館の運営（予算額 19,318 千円）

美術館所蔵の文化財への注目度や関心を高め、町民が町の文化財に誇りと愛着を持てる気風を醸成すると共に、観光施設の拠点としての更なる誘客を促します。

運動公園テニスコートの改修（予算額 42,867 千円）

供用開始後 12 年が経過し、劣化が進む運動公園テニスコート人工芝の張替を行い、施設の長寿命化と施設利用者の快適性・安全性の向上を図ります。

施策の柱：交流【産業】

基本目標 ◎ **活力とゆとりを生み出す産業づくり** **予算総額 456,300 千円**

町内の豊かな営農環境を保全しつつ、農業の生産性向上、後継者の育成等を図ります。

また、函南ブランドの情報発信を行い、販路拡大の支援を図ります。

さらに、伊豆半島をはじめとした交流圏域や交流人口の拡大を活かし、広域連携による効果的なPRを行い、国内外からの観光誘客を促します。

農地の保全、担い手の確保（予算額 17,761 千円）

農業活性化のため、適正な農地保全、農作物の品質向上、環境保全型農業等に対する助成を継続します。また、農業の担い手の育成のため、農業を志す若者に対する支援や、地域の担い手による荒廃農地の再生に対する支援を行います。

森林の整備（予算額 19,119 千円）

森林の適正な管理と保水能力向上等のため、森林環境譲与税を活用し、森林管理に関する意向調査や林道の改修工事を行います。また、荒廃森林の整備を促すため、森林整備を行う者に対し補助金を交付し、治山・治水対策を図ります。

牧場池堤体改修（予算額 11,000 千円）

豪雨耐性が不足し、老朽化が進む牧場池の改修工事を実施することで、安定した用水供給と地域住民の安全確保を図ります。

ふるさと納税の推進（予算額 74,473 千円）

ふるさと納税推進のため、函南ブランドなど町の優れた地域特産品の魅力をこれまで以上に幅広く発信し、寄附件数及び寄附額の増加を図り、地域産業の活性化に繋がります。

また、地方創生に資する取組みを企業にPRし、企業版ふるさと納税の寄附額増加を図ります。

デザインマンホールの作成（予算額 1,216 千円）

町の観光資源を基にデザインしたデザインマンホールを作成し、地域の魅力を発信するとともに、下水道の役割や重要性についての周知を図ります。

道の駅・川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」施設の管理運営（予算額 164,135 千円）

地元農産物のPRや販路拡大、交流人口の拡大のため、交流拠点である道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の運営に民間活力を導入し、各種分野の連携により地域産業の活性化を図ります。また、地域のにぎわいの創出や、アウトドアスポーツ体験の場の提供など、水防活動の拠点でもある川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の維持管理を行います。

施策の柱：交流【交流・にぎわい】

基本目標 ◎ 魅力とにぎわいのある交流づくり 予算総額 2,787,484 千円

今後、一層進展することが予想される情報化社会に対応するため、デジタル技術を活用して、住民サービスや事務効率の向上に取り組みます。

また、町の魅力を広く発信し、定住につながる資源を活用し支援を促進します。

さらに、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点をもって施設等の長寿命化を進めていきます。

第七次函南町総合計画の策定（予算総額 10,780 千円）

町の最上位計画である第六次函南町総合計画が令和8年度に最終年を迎えるため、これまでの取組みを踏まえ、これから町が目指していく将来像やそれを実現するための施策などを定めた次期総合計画を策定します。

生成AIシステムの活用（予算額 1,677 千円）

静岡県との共同調達により生成AIシステムを導入し、文章の作成・要約、情報収集、データ分析などにおいて業務の効率化を図ります。

移住・定住の促進（予算額 6,125 千円）

地方の担い手不足を解消するため、函南町へ移住した方に対する補助金の支給を行い、国・県・町が連携して、定住のサポート体制を構築し、移住・定住の促進を図ります。また、移住希望者に町の魅力を発信するため、首都圏において開催される移住相談会へ出展します。

都市交流事業（予算額 2,395 千円）

異文化交流、国際交流を推進するため、姉妹都市アメリカ合衆国カーマン市との交流や、在住外国人との交流を促進します。

また、令和8年度は姉妹都市提携40周年記念訪問団をカーマン市へ派遣します。

無停電電源装置の更新（予算額 27,602 千円）

耐用年数が経過した設備について、突発的な故障や不具合等を未然に防止し、安定した稼働を維持するため機器の更新を行います。

ごみ処理広域化一般廃棄物処理施設建設候補地選定業務（予算額 3,863 千円）

三島市、裾野市、熱海市、長泉町及び函南町で、ごみ処理の広域化・ごみ処理施設の集約化を実施するための「ごみ処理広域化検討協議会」により連携を行っており、次期一般廃棄物処理施設の建設候補地を決定するにあたり、候補地選定委員会の資料作成、指導、助言等の支援をしてもらうための支援業務等を行います。